



こけしの絵付けをしている宮崎あおいさん

各地へ届け鳴子の魅力 (鳴子温泉)

9月25日・26日の両日、NTT DoCoMo 東北のテレビCMの最新作の撮影が、鳴子温泉地域で行われました。

女優の宮崎あおいさんが東北各地を旅する人気シリーズで、県内の作品では登米市(旧登米町)、南三陸町に続いて3作目となります。タイトルは「伝統と自分らしさ編」。伝統ある鳴子こけしの絵付けや地元のこけし工人との共演シーンもあり、鳴子温泉地域の魅力が伝わる内容になっています。このCMは12月中旬まで東北各地で放映され、大きな宣伝効果が期待されます。

10月13日、松山公民館を会場に、地域のボランティアが協力して行う恒例のお祭り「子どもふれあいまつり」が開催されました。

会場では、もちつき、玉こんにゃく、水ヨーヨーつりなどの縁日コーナーや、プラトンボやペンシルバルーンなどのおもちゃ作りにチャレンジできるコーナーがあり、子どもたちが楽しめる遊び場が盛りだくさん。竹馬は特に人気があり、上手に歩けるようになるまでみんな夢中になって挑戦していました。

子どもふれあいまつり
いろいろな遊びに熱中! (松山)



竹馬はバランスをとるのが難しい!



新米はおいしいね!

白く輝く新米に舌鼓 (古川)

10月6日、古川地域農業振興協議会主催の新米まつりが、みちのく古川 食の蔵「醸室」を会場に開催され、たくさんの家族連れなどでにぎわいました。

大崎の味をおかずに新米のおにぎりが味わえる「大崎セット(とん汁・漬物・しそ巻き・田尻ハム)」は大好評で、用意された300食は完売。「食感がいつもの米と違う」「香りがとてもいい」と、皆さんは古川産新米のすばらしさを再認識。ササニシキ、ひとめぼれの新米の小袋も用意され、思いがけないプレゼントに皆さんの笑顔があふれました。



長靴和吉先生の講話に耳を傾ける皆さん



この苗木が大きくなり大切な森をつくります

美しい森を育てよう (岩出山)

10月14日、岩出山地域の市民いこいの森において「ふるさとの森づくり」が開催され、植樹をするために100人を超える参加者が集まりました。

この事業は、環境保護活動の一環として、JR東日本仙台支社と市が連携して自然の大切さをあらためて理解してもらうために行ったものです。

植樹の前に、長靴和吉先生の愛称で親しまれている、野生植物研究所所長(古川荒谷)の高橋和吉さんから「森の仕組みと役割」についての講話があり、森には洪水を防いだり、二酸化炭素を減らす機能などがあることを分かりやすく説明していただきました。

植樹では、計302本の苗木(コナラ・クヌギ・ナナカマド・ウメドク)を植え、参加者の皆さんは、立派な木に育ち緑豊かな森になって欲しいと願いを込めて、作業に汗を流しました。

地球温暖化や砂漠化など環境破壊が大きな問題となっている現在。今回の体験は、参加者にとって自然や環境問題を考えることができた貴重な時間となったようです。



里山のごちそうをほおぼる子どもたち

稲刈り体験と新米試食会
里山の秋を満喫! (田尻)

10月14日、田尻地域の農家レストラン「蔵楽」を会場に、秋の収穫祭「稲刈り体験と新米試食会」が行われました。

当日は好天に恵まれ、仙台市や大崎市周辺地域から親子や夫婦など15人が参加し、ほとんどの人が初めてとなる稲刈りを体験しました。一生懸命働いた後は、参加者全員で新米の味を堪能。つやつやと輝く新米のおいしさに次々とおかわりをする子どもたちの姿が見られました。昼食後は、栗拾いをし、里山の実りの秋を満喫した1日となりました。

10月3日・4日、友好都市である横浜市港南区から、ひまわり交流協会高森会長、光田副区長をはじめ、一行13人が大崎市を訪問し、意見交換会が行われました。

三本木地域と横浜市港南区は、小学生を対象にした「ひまわり生活体験交流事業」をはじめ、ひまわりが取り持つ縁でさまざまな分野で交流しています。この日は、今後の事業についての話し合いが活発に行われました。交流会終了後は、鳴子温泉に宿泊し、翌日は日本こけし館や旧有備館および庭園を見学するなどしてさらに友好を深めました。

横浜市港南区との意見交換会
よりよい事業を展開するために (三本木)



活発に話し合いが進んだ意見交換会



ゴールを目指して全力疾走!

地域で楽しむスポーツの秋 (鹿島台)

10月8日、鹿島台地域の鎌田記念ホールを会場に「鹿島台スポーツ・レクリエーション大会」が開催されました。このイベントは、地域に密着したスポーツ活動を目的に、旧鹿島台町で始まり今回で6回目となります。

当日は約700人が参加し、3人1組で棒を横に持ってリレーをする「台風の日」や、「パン食い競争」「玉入れ」などで盛り上がりました。今大会のテーマは「交流・活力・健康」。そのテーマどおり、子どもから大人まで幅広い年代の人が一緒になってさまざまなスポーツを楽しみました。